

日本フンボルト協会 2023年度臨時常務理事会議事録

日 時：2023年4月29日（土）14時から15時35分

形 式：オンライン会議

出席者：伊藤理事長、伏木先生、広渡先生、井田先生（関東甲信越支部長）、
居城先生（北海道支部長）、岡林先生、須田先生（東北支部長）、高橋輝暁先生、
高山先生、武内先生、種村先生、鏑田先生、関映子（事務局）

《議題》

審議事項

① 留学説明会後のフォローアッププログラムについて（鏑田先生） 資料1～6

鏑田先生から、資料に基づきフォローアッププログラムについて説明があり、審議の結果、留学説明会担当者（鏑田先生、居城先生、高山先生）で、フォローアッププログラムの参加者数、留学経験説明者、諸経費などについて、より具体的な数値などが記載されている企画案を、再度作成し、常務理事会に提出したうえで、改めて常務理事会で審議することになった。

報 告

① 2023年春の叙勲について

議長より、井田 良常務理事に紫綬褒章が授与されたことが、祝意をもって披露された。

② DWIH主催の『ドイツの大学、研究機関とオンラインで繋がる一日』（ドイツ留学のための情報発信）に参加して（高山先生）

フンボルト奨学金担当（Vertrauenswissenschaftlerin）として上記イベントに参加した高山常務理事から、参加者からの質問状況や今後の改善点などが報告された。500人の申し込みがあり、300名が実際に参加したとのこと。高山理事はフンボルト奨学金の説明を担当した。

③ 西原春夫先生お別れの会（2023年5月2日（火）11時から12時30分）

早稲田大学が主催する、大隈講堂でのお別れ会に、事務局が参加する旨報告された。

④ 2023年度総会（6月10日（土））について

- ・事務局から総会会場などの準備状況について、以下の報告があり了承された。
- ・理事会、総会、講演会は、ハイブリッドでの開催を予定しているが、現状では、当日の会場参加者数が見通せず、会場の収容人数などを踏まえ、会場参加数を制限することも検討中。
- ・5月10日前後に案内状をメールで発信する。
- ・その後、講演者の合田圭介会員より、会場で講演を行う旨の回答があった。
演題：「どうなる！？ニッポンの科学」

⑤ フンボルト奨学金申請・採択状況について（参考資料）

議長から、日本フンボルト協会からの上記問い合わせについて、フンボルト財団本部から以下の回答があった旨、報告があった。

hier schicke ich Ihnen die Zahlen für Japan für die Jahre 2020 – 2022. (Frau Lieblang 2023.04.26)

	Humboldt-Forschungsstipendien	
	Bewerbungen	Bewilligungen
2020	29	11
2021	26	5
2022	36	10

Schildt さんからの回答（フンボルト奨学金採択状況）：

Wir haben in 2022 sehr, sehr viele Bewerbungen weltweit erhalten, aber zwischenzeitlich war uns eine geringere Förderung durch die Bundesministerien in Aussicht gestellt wrden. Deshalb mussten wir zu unserem großen Bedauern zeitweise die Erfolgsaussicht von ca. 30% auf ca. 25% absenken. Das bedeutet, dass die Stiftung nur für ca. ein Viertel aller qualifizierten Bewerbungen wirklich das Geld hatte. An den Zahlen können Sie sehen für 2022, dass die japanischen Kandidatinnen und Kandidaten immer noch SEHR GUT sich durchgesetzt haben in der Auswahl.

抄訳：2022年は非常に多くの申請者があったが、連邦省から示された助成金減額により、残念ながら、これまでの採択率を30%から概ね25%に下げなくてはならなかった。即ち、財団には、質の高い申請の4分の1のための財源しかない。このような状況であっても、日本の（採択）候補者は、選考において、依然として「非常によく」頑張っていることがわかるでしょう。

以上